

9 化学物質環境実態委調査結果

【平成27年度調査結果】

(1) 初期環境調査

① 水質（単位：ng/ℓ）

物質名		犀川河口（金沢市）		検出下限値
1	N,N-ジメチルアセトアミド	nd		14
2	2,3-ジメチルアニリン	—		12
3	モノブチルスズ化合物	6.9		4.4
	ジブチルスズ化合物	5.2		1.7
	ジメチルスズ化合物	nd		7.0

② 大気（単位：ng/m³）

物質名	県保健環境センター（金沢市）			検出下限値	
	検体1	検体2	検体3		
1	アクリル酸2-ヒドロキシエチル	nd	nd	nd	58
2	2,3-エポキシ-1-プロパノール	nd	nd	nd	1,000
3	N-ニトロソジメチルアミン	1.2	0.86	0.17	0.017

物質名	美川一般環境大気測定局（白山市）			検出下限値	
	検体1	検体2	検体3		
1	アクリル酸2-ヒドロキシエチル	nd	nd	nd	58

物質名	小松一般環境大気測定局（小松市）			検出下限値	
	検体1	検体2	検体3		
1	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	※7.1	nd	nd	8.6

(2) 詳細環境調査

① 水質（単位：ng/ℓ）

物質名		犀川河口（金沢市）		検出下限値
1	2-(2-エトキシエトキシ)エタノール	240		54
2	2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール (別名：2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)	—		6.2

② 大気（単位：ng/m³）

物質名	県保健環境センター（金沢市）			検出下限値	
	検体1	検体2	検体3		
1	イソブチルアルデヒド	nd	nd	nd	2,200

【記号の説明】

nd：不検出

—：欠測等（「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体）

※：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）

(3) モニタリング調査

① 水 質 (単位: pg/ℓ)

	物 質 名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1	PCB類 (総量)	1,000	※21
2	ヘキサクロロベンゼン	47	1.8
3	ヘキサクロロシクロヘキサン類		
	α-HCH	60	1.2
	β-HCH	110	1.2
	γ-HCH (別名: リンデン)	31	0.9
	δ-HCH	13	0.3
4	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	610	※40
5	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	1,500	29
6	ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	17,000	56
7	ペンタクロロベンゼン	18	1.5
8	ペンタクロロフェノール	1,800	260

② 底 質 (単位: pg/g-dry)

	物 質 名	犀川河口 (金沢市)	検出下限値
1	PCB類 (総量)	10,000	※62
2	ヘキサクロロベンゼン	130	3
3	ヘキサクロロシクロヘキサン類		
	α-HCH	48	0.7
	β-HCH	210	0.8
	γ-HCH (別名: リンデン)	12	0.5
	δ-HCH	19	0.5
4	ヘキサブロモジフェニル類	nd	0.8
5	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	150,000	※120
6	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	34	3
7	ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	120	3
8	ペンタクロロベンゼン	97	1.5
9	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類	4,800	※740
	α-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	1,000	150
	β-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	280	150
	γ-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	3,500	110
	δ-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	nd	180
	ε-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン	nd	130

③ 生 物 (単位: pg/g-wet)

	物 質 名	能登半島沿岸 ムラサキガイ	検出下限値
1	PCB類 (総量)	580	※52
2	ヘキサクロロベンゼン	26	20
3	ヘプタクロル類	92	※14
	ヘプタクロル	nd	3.0
	cis-ヘプタクロルエポキシド	91	2.1
	trans-ヘプタクロルエポキシド	nd	7
4	トキサフェン類	nd	※240
	2-endo,3-exo,5-endo,6-exo,8,8,10,10-オクタクロロボルナン (Parlar-26)	tr (17)	23
	2-endo,3-exo,5-endo,6-exo,8,8,9,10,10-ノナクロロボルナン (Parlar-50)	tr (16)	30
	2,2,5,5,8,9,9,10,10-ノナクロロボルナン (Parlar-62)	nd	150
5	ヘキサクロロシクロヘキサン		
	α-HCH	25	3.0
	β-HCH	69	3.0
	γ-HCH (別名: リンデン)	14	4.8
	δ-HCH	tr (1.5)	2.1
6	ヘキサブロモジフェニル類	nd	14
7	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	tr (130)	330
8	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	tr (2)	4
9	ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	tr (6.3)	10
10	ペンタクロロベンゼン	18	12

11	エンドスルファン類	160	※150
	<i>α</i> -エンドスルファン	130	120
	<i>β</i> -エンドスルファン	tr (22)	32
12	1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン類	790	150
	<i>α</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	560	30
	<i>β</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	30	30
	<i>γ</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	200	30
	<i>δ</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	30
	<i>ε</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	tr (10)	30
13	ポリ塩化ナフタレン (総量)	nd	※54
	ポリ塩化ナフタレン類 (塩素数が2から8までのもの)	nd	※42

④ 大 気 (単位: pg/m³)

物質名	県保健環境センター (金沢市)		検出下限値
	温暖期		
1 PCB類 (総量)	29		※5.9
2 ヘキサクロロベンゼン	100		0.5
3 DDT類	2.1		※1.1
	<i>p,p'</i> -DDT	0.36	0.15
	<i>p,p'</i> -DDE	1.2	0.12
	<i>p,p'</i> -DDD	nd	0.33
	<i>o,p'</i> -DDT	0.32	0.12
	<i>o,p'</i> -DDE	tr (0.12)	0.18
	<i>o,p'</i> -DDD	nd	0.20
4 ヘプタクロロ類	2.1		※0.7
	ヘプタクロロ	1.6	0.19
	<i>cis</i> -ヘプタクロロエポキシド	0.5	0.5
	<i>trans</i> -ヘプタクロロエポキシド	nd	0.03
5 ヘキサクロロシクロヘキサン	12		0.17
	<i>α</i> -HCH	0.86	0.25
	<i>β</i> -HCH	2.4	0.19
	<i>γ</i> -HCH	0.22	0.15
	<i>δ</i> -HCH	nd	0.06
6 ヘキサブプロモビフェニル類	nd		0.06
7 ポリブプロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	nd		※8
8 ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	1.4		0.19
9 ペルフルオロオクタナ酸 (PFOA)	13		4.2
10 ペンタクロロベンゼン	52		0.6
11 エンドスルファン類	4.9		※1.5
	<i>α</i> -エンドスルファン	4.6	1.0
	<i>β</i> -エンドスルファン	tr (0.4)	0.5
12 1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン類	nd		※5.3
	<i>α</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	0.9
	<i>β</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	0.8
	<i>γ</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	0.8
	<i>δ</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	1.9
	<i>ε</i> -1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカン	nd	0.9
13 ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	1,400		29
	1,300		29
	1,300		29

[記号の説明]

nd: 不検出

tr: 検出下限以上定量下限未満

※: 同族体ごとの検出下限値の合計値